

科目名 (英)	はりきゅう実技Ⅲ Practice of Acupuncture and MoxibustionⅢ	必修 選択	必修	年次	3年次	担当教員	
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	45 1	開講区分 曜日・時限	前期
<p>【授業の学習内容】</p> <p>はりきゅう実技Ⅲでは多様化する社会的ニーズに対応する様々な施術能力を養うために、臨床現場で行われている様々な手技の目的、方法、作用などの知識のほかに、禁忌やリスクを学習し、診察から施術までの流れで必要な能力を修得する。</p> <p>実務実績 前田 付属治療院などでの診察から治療までの業務に従事 資格、はり師・きゅう師</p> <p>【到達目標】</p> <p>はり師・きゅう師として患者のニーズに合わせた施術が選択できるよう各種療法を身に付ける。</p> <p><具体的な目標></p> <p>目標①様々な鍼灸療法に関して、適切な施術ができる。</p> <p>目標②各種療法の適応について説明できる。</p> <p>目標③疾病、症候に合わせた療法を選択できる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	反応点療法 反応点療法と自律神経反射の関係について理解する。
2回目	反応点療法 反応点療法と自律神経反射の関係について理解する。
3回目	反応点療法 反応点の触察を行うことができる。
4回目	反応点療法 反応点に対する刺鍼を行うことができる。
5回目	反応点療法 反応点(筋緊張部)の出現メカニズムを理解することができる。
6回目	反応点療法 腰痛・膝痛発生時の反応点の診かたについて理解することができる。
7回目	反応点療法 腰痛・膝痛発生時の反応点への刺鍼・接触刺激を行うことができる。
8回目	反応点療法 頭痛・めまい発生時の反応点の診かたについて理解することができる。
9回目	反応点療法 頭痛・めまい発生時の反応点への刺鍼・接触刺激を行うことができる。
10回目	反応点療法 肩痛・内臓疾患等発生時の反応点の診かたについて理解することができる。
11回目	反応点療法 肩痛・内臓疾患等発生時の反応点への刺鍼・接触刺激を行うことができる。
12回目	反応点療法 疲労と反応点の出現について理解することができる。
13回目	反応点療法 生殖器・泌尿器の異常発生時の反応点の診かたについて理解することができる。
14回目	反応点療法 生殖器・泌尿器の異常発生時の反応点への刺鍼・接触刺激を行うことができる。
15回目	反応点療法 排泄異常発生時の反応点の診かたについて理解することができる。
準備学習 時間外学習	この科目では、事前の準備学習は必要ありません。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	はりきゅう実技Ⅲ Practice of Acupuncture and MoxibustionⅢ	必修 選択	必修	年次	3年次	担当教員	
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	45 1	開講区分	前期
【授業の学習内容】 鍼灸治療をするにあたって臨床の場では疾病、症候に合わせて個々の体質、コンディション、感受性などを踏まえて治療内容を組み立てることが必要不可欠である。 はりきゅう実技Ⅲでは多様化する社会的ニーズに対応しうる様々な施術能力を養うために、臨床現場で行われている様々な手技の目的、方法、作用などの知識のほかに、禁忌やリスクを学習し、診察から施術までの流れで必要な能力を修得する。 実務実績 前田 付属治療院での診察から治療までの業務や実務実績 高等学校ゴルフ部、社会人アメリカンフットボール、女子ラグビーなどでのトレーナー活動及び国民体育大会帯同 資 格 はり師・きゅう師、JRFUセーフティアシスタント							
【到達目標】 はり師・きゅう師として患者のニーズに合わせた施術が選択できるよう各種療法を身に付ける。 <具体的な目標> 目標①様々な鍼灸療法に関して、適切な施術ができる。 目標②各種療法の適応について説明できる。 目標③疾病、症候に合わせた療法を選択できる。							

【使用教科書・教材・参考書】	
16回目	反応点療法 排泄異常発生時の反応点への刺鍼・接触刺激を行うことができる。
17回目	頭鍼療法 頭鍼療法について理解することができる。頭鍼療法を行う上での診かたを理解することができる。
18回目	頭鍼療法 診たてに基づいた頭部への刺鍼を行うことができる。刺鍼の結果の変化を体感することができる。
19回目	不妊・育卵鍼灸 生殖のメカニズム、鍼灸施術の効果発現メカニズムについて理解することができる。
20回目	不妊・育卵鍼灸 生殖鍼灸を行う上で必要な基本的な鍼灸の技術を行うことができる。
21回目	神経ブロック刺鍼 神経ブロックについて理解することができる。
22回目	神経ブロック刺鍼 神経ブロック点について解剖学的に理解することができる。
23回目	神経ブロック刺鍼 神経ブロック点への刺鍼を行うことができる。
24回目	神経ブロック刺鍼 神経ブロック点への刺鍼を行うことができる。
25回目	
26回目	
27回目	
28回目	
29回目	
30回目	
準備学習 時間外学習	この科目では、事前の準備学習は必要ありません。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	